

2023 ななさと

⑨るほど ⑨っとく ⑨あ ⑨りくむぞ！やって伸びる七里っ子！



R5. 6. 21 (水)
第19号
文責：校長 川添
七里小学校

みんなでSDGs

「もぐにいい」と一緒に考えたよ！

19日(月)に、3・4年生が株式会社アッシュの方と「もぐにいい」(「食品ロス」をなくすためにきらきら星からやってきた妖精)をお迎えし、「食品ロス」について学習しました。

給食の食べ残しによる食品ロスは、1年間に一人平均お茶碗47杯分であるというデータを見て、びっくりするとともに「食品

ロス」の問題には自分たちも関わっていることに気が付いた様子でした。そこから自分たちにできることを考え合いました。学習の最後には、3・4年生全員が「給食の食べ残しを減らすための目標」を自分で決め、もぐにいいにも伝えました。

「自分の身内にショウガ農家がありますが、農家の方が『一生懸命』つまり命がけで育てた物が調理され、給食として皆さんに提供されています。だから、皆さんも『感謝』の気持ちを持って給食をいただいてください。」というアッシュの方のお話に、全員が深くうなずいていました。



「きれいなものもこくふくしたいです。」

「もぐにいいも応援しているよ！がんばって」



「自分の食べられる量を時間までに食べま

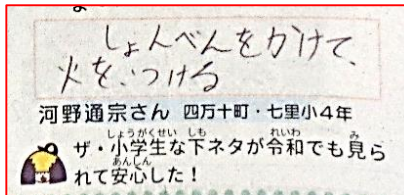
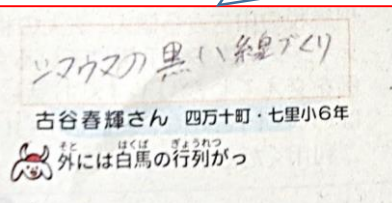
「みんなのがんばりで食品ロスが減りそうだね。」



決めた目標は短冊カードに清書し、自分の机に貼って、常に目に留まるようにしています。「なるほど、なっとく、さあ、とりくむぞ」の七里っ子パワーで「食品ロス」問題に向き合い始めた子どもたちです。

「読もっか」に掲載されたよ！

6月16日付で発表された「6月のおとぼけ小テスト」の優秀作品では、七里っ子のユニークな回答が3つも掲載されました！



この日掲載された7月の「おとぼけ小テスト」にも、たくさんのお子様たちがチャレンジしています。

6月20日付

親ってたいへん

★四万十町・七里小★

お母さんの妹が赤ちゃんをうんだので、すさきのおばあちゃんの家に行きました。赤ちゃんは、まだねむっていました。

おこさないようにしていたけれど、赤ちゃんの部屋からなき声が聞こえました。すぐにお母さんたちが赤ちゃんの部屋に行きました。なっていたのは、オムツがぬれたからでした。お母さんの妹がミルクを飲ませていました。すると、赤ちゃんがなきやみました。

わたしは、親ってたいへんだなあと思いました。赤ちゃんがなくて、夜もあまりねむれないそうです。わたしもこんなかんじだったんだなあと思いました。

(3年、沖田古都記者)

赤ちゃんを懸命に世話する親（お母さんの妹さん）の様子を見て、自分もこんなふうに親に大変な思いをさせたんだなあと感じた古都さん！この日目にした光景が、自分を育ててくれている親に感謝する気持ちを芽生えさせてくれたかもしれませんね。

当たり前にいってくれる存在に感謝の気持ちを抱くことって少ないかもしれませんが、本当は一番大切にしたいことですよね。この記事を読みながら、そんなことをふと思ったことでした。

1学期残り1か月！登校日数は20日！



修学旅行気分から切り替えて、黙々と学習に取り組む6年生！

早いもので、6月も下旬になりました。カレンダーを指折り数えると、1学期の終業式までちょうど1か月です。これからの1か月は、1学期間の学習の定着を図る重要な期間にもなります。

また、今日から窪川中学校の期末テスト期間に合わせて**家庭学習チャレンジウィーク**が始まります。「テレビやゲームを消して」「まずは宿題から」「目安の時間まで」の3つを目標にチャレンジカードにがんばりのあしあとを記録していきます。

お子さんが何に取り組もうかと悩んでいたら、以前お配りしました「家庭学習の手引き」などを参考にアドバイスをするなど、少し背中を押してやってください。そして、がんばり始めたら目いっぱい褒めてやってください。